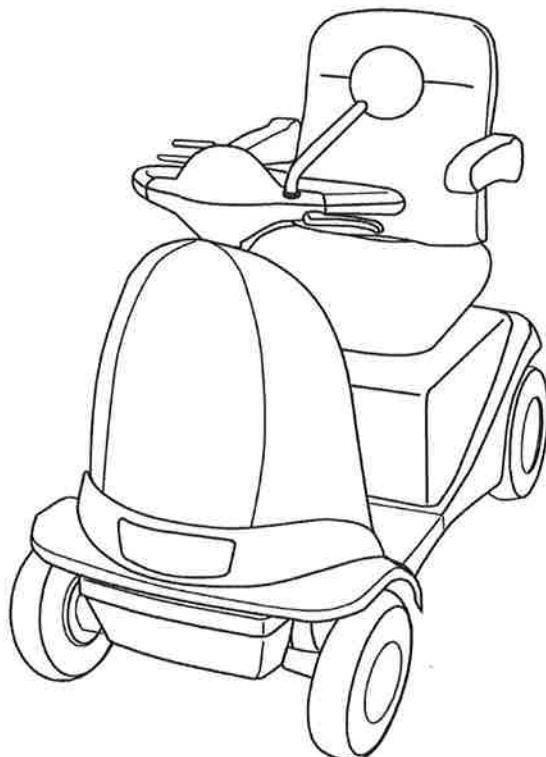


電動四輪車いす

取扱説明書

BT400



ご使用前に必ずお読みください。

atex

はじめに

- このたびは電動車いすをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書は、電動車いすをご使用する際にぜひ守っていただきたい、安全上の注意事項、正しい取扱い方法、簡単な点検・整備に関する技術的事項を中心に構成されています。
- ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、内容を習熟し、安全運転に心がけてください。
- お読みになった後は携帯するか、いつでも見られる場所に保管し、ご使用中に分からぬことや不都合が生じた時は、取り出して必ず確認してください。
- 電動車いすを他の人に譲渡される場合は、相手の方に取扱説明書の内容を十分に理解していただき、この取扱説明書を電動車いすに添えてお渡しください。
- この取扱説明書を紛失、または損傷された場合は、すみやかにお買い上げいただいた販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更をおこなうことがあります。その際には、本書の内容・イラストがお手元の電動車いすと一部異なることがありますので、あらかじめご了承ください。
- もし、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

安全にご使用していただくための基本となること

1. 広い場所で十分練習し、操作に慣れる！
2. 交通ルールやマナーを守る！
3. 性能の限界を越えた無謀な運転や、禁止区域での使用はしない！
4. 取扱いの指示を守り、誤った使い方をしない！

お客様に安全にご使用いただくための基本的なポイントは、上記の通りですが、本書の中で、必ず守っていただきたい具体的な事項と、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、下表のように「▲危険」「▲警告」「▲注意」に区別し、説明しております。この中でも、特に重要な事項については、ラベルにして本機に貼付しておりますので、取扱説明書とラベルをよくお読みになり、必ずお守りください。

 危険	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるもの。
 警告	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負う恐れのあるもの。
 注意	その指示に従わなかった場合、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する恐れのあるもの。
 重要	製品の性能を発揮させるためのアドバイス

重要 の表示は、ご使用上役立つ留意事項について説明しております。また、「▲注意」とした内容でも、状況によっては、重大な結果につながる場合がありますので必ずお守りください。

目 次

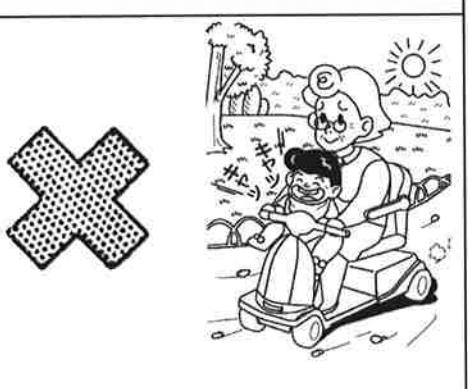
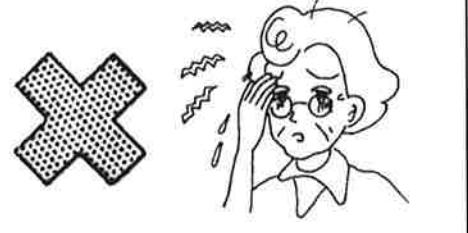
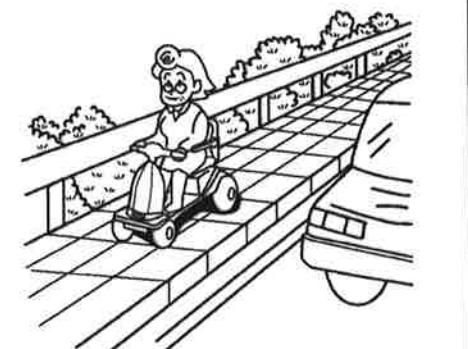
安全のポイント	1
交通ルールやマナーを守りましょう	1~4
使用上の注意	5~7
本体表示（ラベル）について	8
保証とサービス	9
各部の名称とはたらき	10
各部の名称	10
操作スイッチやメータの名称とはたらき	11~12
操作レバーの名称とはたらき	13
警報と音声案内機能	14~19
安全装置と機能	20~21
使 用 す る 前 に	22
各部の調節	22~23
運 転 の し か た	24
乗車する際の確認	24
走行のしかた	25~28
緊急時の対応	29~30
充 電 の し か た	31
充電に関する一般的な注意	31
充電作業	32~34
バッテリの取扱い	35
バッテリに直接触れる場合の注意	35
バッテリの取付・取り外し方	36~38
バッテリの清掃	39
保 守 ・ 点 檢	40
保守のしかた	40~41
点検について	42
不調時の対応のしかた	43~44
仕 様	45
主要諸元	45
外観図	46
電気配線図	47
別売部品の紹介	48
定期点検記録	49
修理記録	50

安全のポイント

交通ルールやマナーを守りましょう

この製品は、道路交通法上、身体障害者用車いすであり、歩行者と同じ扱いになります。したがって、歩行者としての交通ルールやマナーを守り、安全にご使用ください。

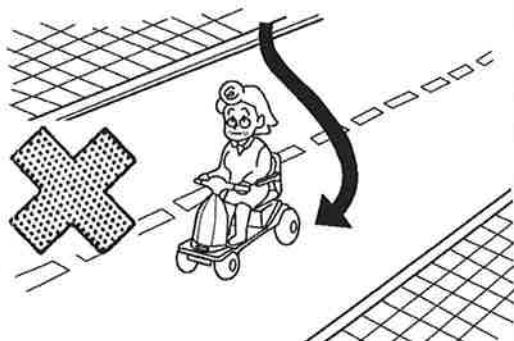
■ 基本的な交通ルール

⚠ 注意	
<p>この製品は「身体障害者用車いす」です。</p> <ul style="list-style-type: none">・2人乗り・他の物のけんいん・遊具としての使用など車いす以外の用途に使用しないでください。	
<p>この様な場合は運転はやめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・気分のすぐれないときや、飲酒したときは運転しないでください。注意力が散漫になり、事故を引き起こす恐れがあります。	
<p>歩道を通行しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none">・歩道や歩行者専用道路を通行してください。歩道のない道路では、自動車に十分注意して、道路の右側を通行してください。・他の歩行者や自転車にも注意して通行しましょう。	

▲ 注意

横断歩道を渡りましょう。

- ・近くに横断歩道や信号機があるときは、必ずその横断歩道や信号機のある交差点を通行してください。歩行者の横断禁止場所を横断してはいけません。
- ・横断歩道では、左右の安全をしっかりと確認し、自動車や自転車、バイクが近付いていないか、あるいは停止してくれたかを確認してから渡りましょう。
- ・横断中は、他の歩行者等へも注意して渡りましょう。
- ・道路の斜め横断はしないでください。



交差点では一旦停止しましょう。

- ・交差点の手前では必ず一旦停止し、左右の安全をしっかりと確認して、ゆっくり発進しましょう。



▲ 注意

信号を守りましょう。

- ・信号機のある所では、信号が「青」になつてから渡ってください。点滅中なら次の「青」まで待つてから渡ってください。

- ・押しボタン式の歩行者用信号機のある所では、ボタンを押し、信号が「青」になったことを確認してから、渡りましょう。

※信号機のないところでは、横断歩道か、見通しの良いところを捜し、左右の安全をしっかり確認してから渡りましょう。

青点灯 青点滅 赤点灯



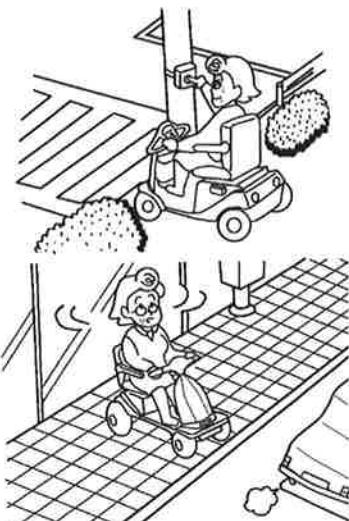
横断



横断を始め
ては危険



横断禁止

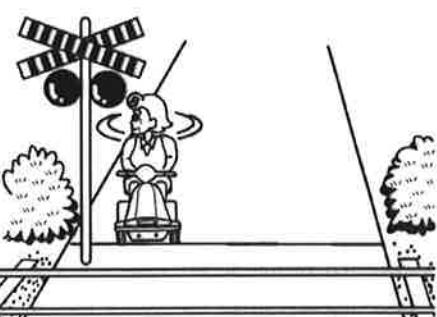


踏切では必ず一旦停止しましょう。

- ・踏切の手前では必ず一旦停止し、左右の安全を確認してください。
- ・線路に対して直角に進入し、線路の溝にタイヤを取られないように十分注意してください。

※踏切内で動かなくなった時には、近くに人がいる場合にはその人に協力していただき、手押し移動してください。(手押し移動のしかたは、P. 29「手押し移動のしかた」の項目をお読みください。)

万一、踏切内から脱出できない最悪の場合には、踏切の非常ボタンを押してください。

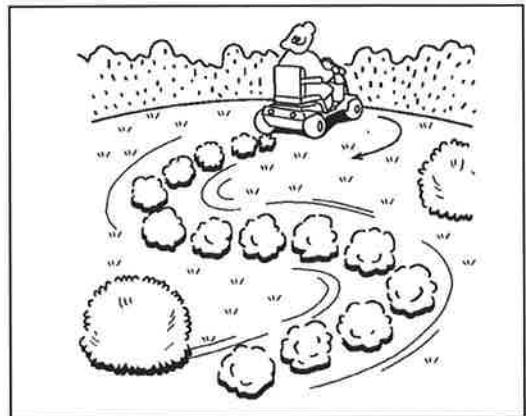


■運転のマナー

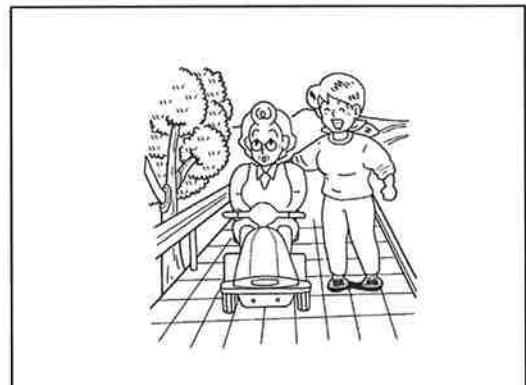
他の歩行者に迷惑をかけない正しい運転マナーを身につけましょう。

(1) 歩行者の迷惑にならないよう運転に慣れるまでは、公園など広く安全な場所で十分練習してください。

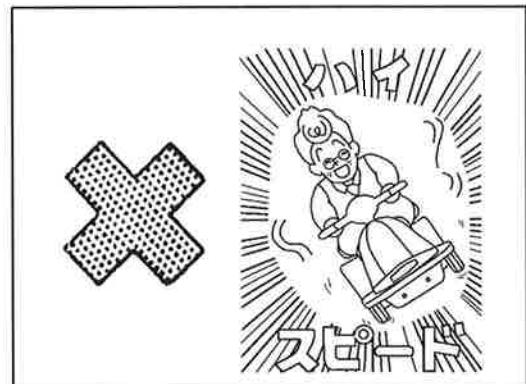
- ・運転は「低速」で前進から始め、左右折、S字走行、Uターン、回転走行、そして後進走行をしっかりと練習し、操作に慣れてください。
- ・「低速」での運転に慣れた後、徐々に変速ダイヤルで速度を上げて「低速」の時と同じように練習してください。
(急ハンドルを避け、慎重に運転してください。)



(2) 初めて道路に出るときは、必ず介助者と一緒に外出し、安全な道路と道順を確認しながら走行してください。



(3) 歩行者の迷惑にならない運転を心がけてください。
(「高速」での乱暴な運転などはしないでください。)



使用上の注意

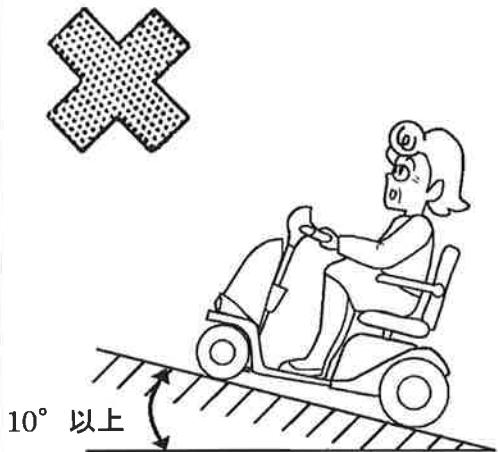
ご使用前に、以下の事項をよくお読みになり、必ずお守りください。

⚠ 警 告	
	<p>衝突・転倒の恐れがあります。 クラッチレバー「切」の位置で乗車走行しないでください。 ・下り坂ではブレーキが効かず、重大な事故につながる恐れがあります。</p>
	<p>引火爆発の恐れがあります。 充電中バッテリに火気を近づけないでください。 ・充電中は、バッテリから可燃性のガスが発生しますので、火気（ストーブ・たばこの火等）のある場所では充電しないでください。</p>
	<p>感電の恐れがあります。 濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。 ・手の水分は拭き取ってください。 ・濡れたプラグはよく乾燥させてください。</p>

▲ 注意

転倒する恐れがあるので急な坂道（10°以上）でのご使用は、避けてください。

- ・10°以内の坂道でも斜め走行はせず、まっすぐに登り降りしてください。また、急ハンドルは避けてください。
- ・特に下り坂では、必ず「前進・低速」で降りてください。
(下り方向への後進は、危険ですから避けてください。)



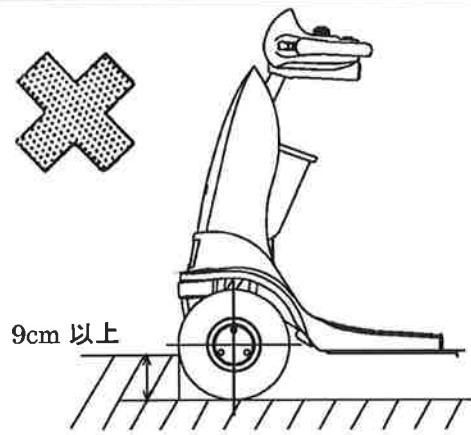
転倒する恐れがあるので、右図のような傾斜面（5°以上）でのご使用は、避けてください。

- ・5°以内の傾斜面でも、坂の下側にハンドルが取られやすくなります。両手でしっかりとハンドルを握って操作してください。



転倒する恐れがあるので、大きな段差（9cm以上）は乗り越えないでください。

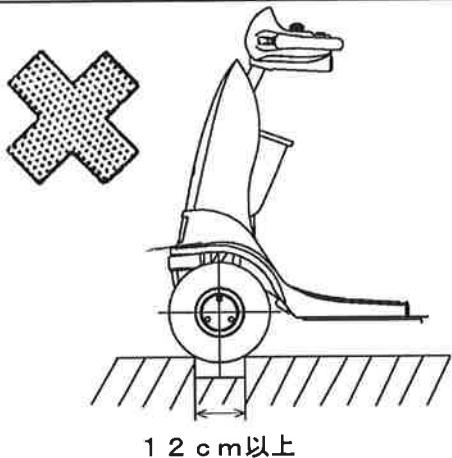
- ・9cm以下の段差でも、両手でしっかりとハンドルを握って、ゆっくりと直角に乗り越えてください。



! 注 意

転倒したり動けなくなる場合がありますので、幅が12cm以上ある深い溝は、乗り越えないでください。

- ・幅が12cm以下の場合でも、タイヤを溝に取られないように注意し、両手でしっかりとハンドルを握って、ゆっくりと直角に乗り越えてください。



右記のような場所や状況下での走行は回避するか、介助者に同行してもらってください。

交通量の多い道路・道幅の広い横断歩道・踏切・砂利道・狭い道・防止柵の無い側溝や路肩付近・夜間走行・雨降り・ぬかるみ・雪道・凍結路・濃霧・強風時など

転倒及び操作の障害になる恐れがあるのでフロントポケット(バスケット)には、3kg以上の重量物や大きな物を入れないでください。

- ・重量制限は、人・手荷物を含めて100kgまでです。重量オーバーしないよう使用してください。

事故や故障の原因となりますので、改造は絶対にしないでください。

- ・部品交換の際は、必ず純正部品を使用してください。

携帯電話や無線通信機器は使用しないでください。

- ・事故防止のため、携帯電話や無線通信機器は、停車し、キースイッチを「止」にしてから使用してください。

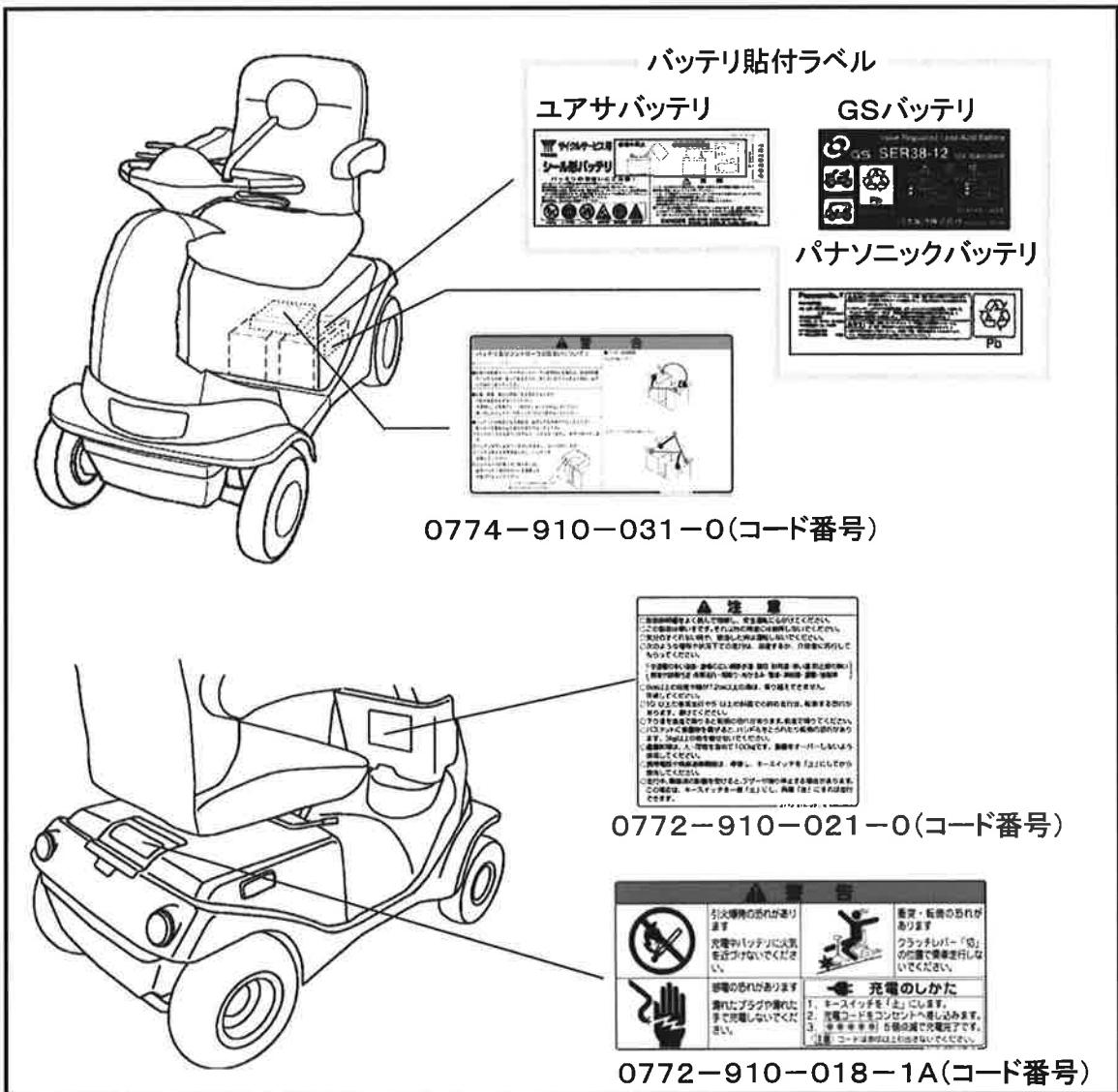
走行中、電磁波の影響を受けると、ブザーが鳴り、停止する場合があります。

- ・この場合は、キースイッチを一度「止」にし、再度「走行」にすれば走行できます。

本体表示（ラベル）について

- この製品には、安全にご使用していただくための特に重要な事項を、ラベルにして本体に貼り付けしています。よくお読みになり、必ずお守りください。
- ラベルを破損・紛失したり、記載文字が読めなくなった場合は、新しいラベルに貼りかえてください。ラベルは、お買上げいただいた販売店へご注文ください。
- ラベルが汚れた場合は、きれいに拭き取り、いつでも読めるようにしてください。
- ラベルが貼り付けしてある部品を交換する場合は、同時にラベルもご注文ください。
- ご注文の際は、下記コード番号を販売店へお知らせください。

ラベル貼付位置



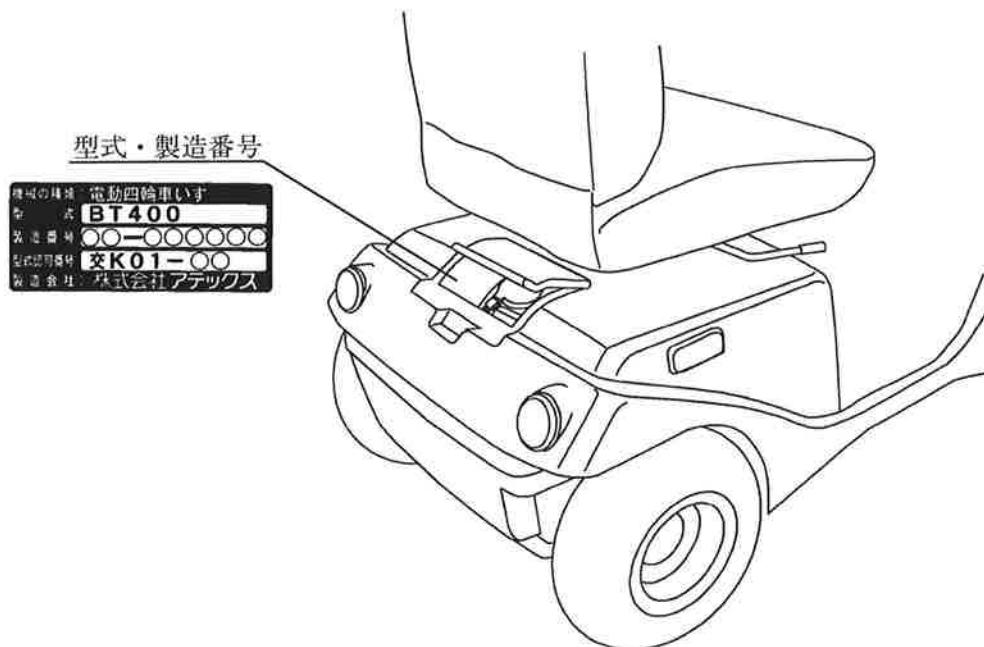
保証とサービス

■製品の保証

この製品には、アテックス保証書が添付されています。詳しくは、保証書をご覧ください。

■サービス

ご使用中の故障やご不明な点、及びサービスに関するご用命は、お買上げいただいた販売店へお気軽にご相談ください。その際、型式・製造番号を併せてご連絡ください。



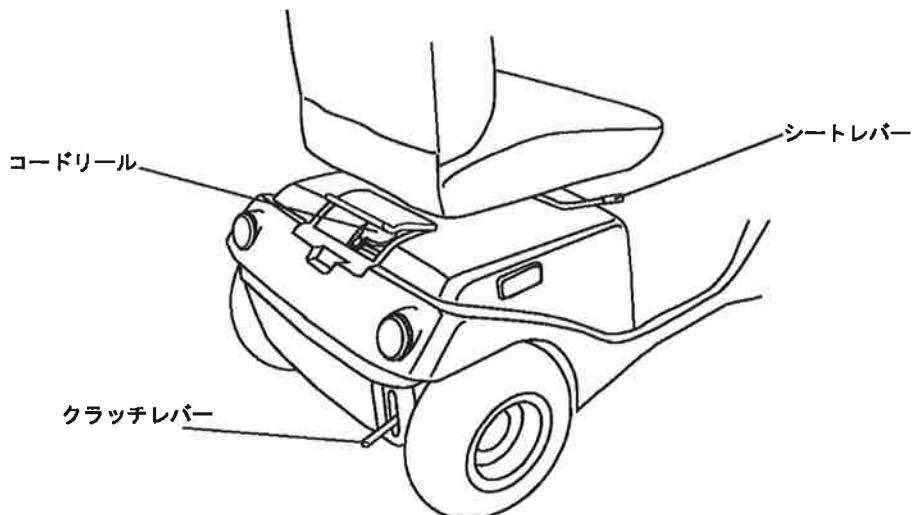
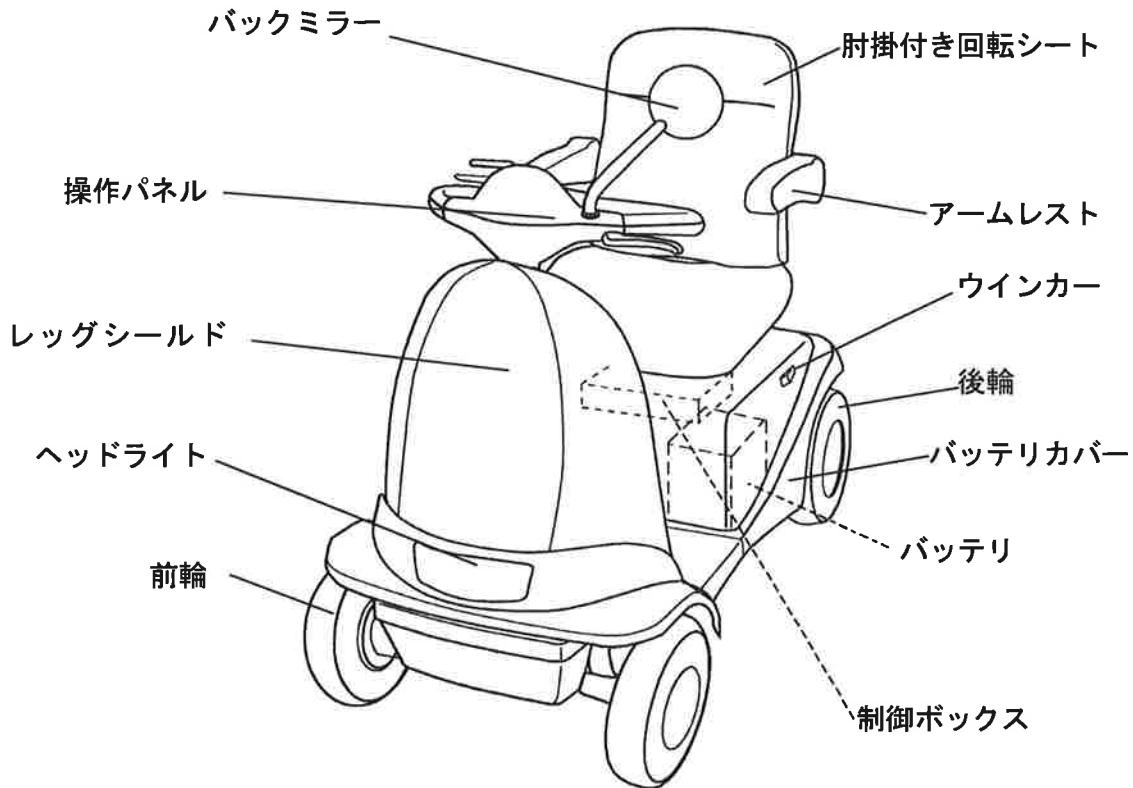
■補修用部品供給年限

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は製造打ち切り後10年といいたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただくこともあります。

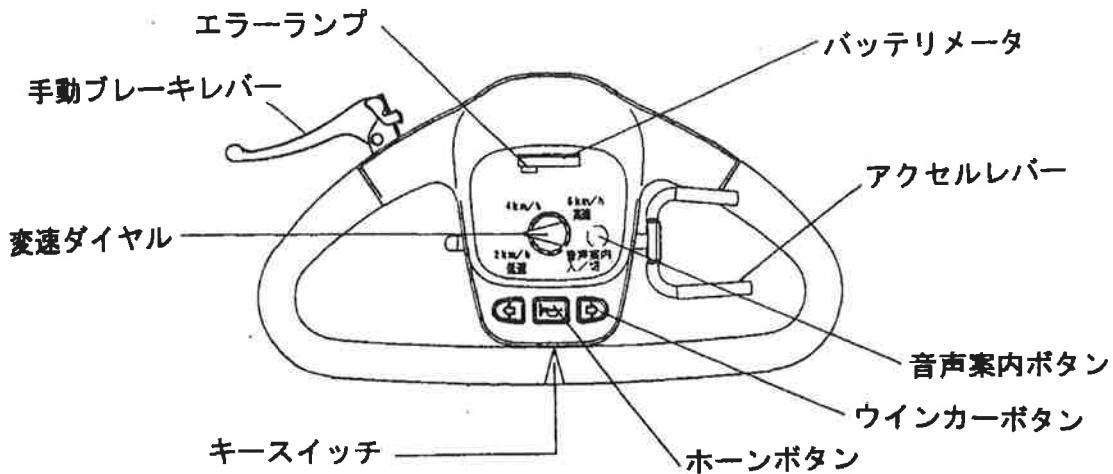
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

各部の名称とはたらき

各部の名称



操作スイッチやメータの名称とはたらき



■バッテリーメータ

- ・走行時はバッテリの残量、充電中は充電の進み具合を、5個のランプの点灯や点滅でお知らせします。

■エラーランプ

- ・エラー発生時に点灯します。

■変速ダイヤル

- ・前進時の最高速度を2.0 km/h ~ 6.0 km/hの範囲で自由に調節できます。
- ・後進時の最高速度を0.6 km/h ~ 2.0 km/hの範囲で自由に調節できます。

前進⇒2.0 ~ 6.0 km/h

後進⇒0.6 ~ 2.0 km/h

■キースイッチ

- ・電源の「入・切」とヘッドライト及び車幅灯(ワインカー兼用)の「点灯」、「消灯」に使用します。

「走行」位置⇒走行する時

「止」位置⇒充電時・キーを抜く時・格納時

「」位置⇒ヘッドライト及び車幅灯を点灯して走行する時

■ホーンボタン

- ・押している間、ホーンを鳴らすことができます。

■ワインカーボタン

- ・押した側の方向指示器を点滅することができます。
- ・もう一度押すと点滅が解除されます。

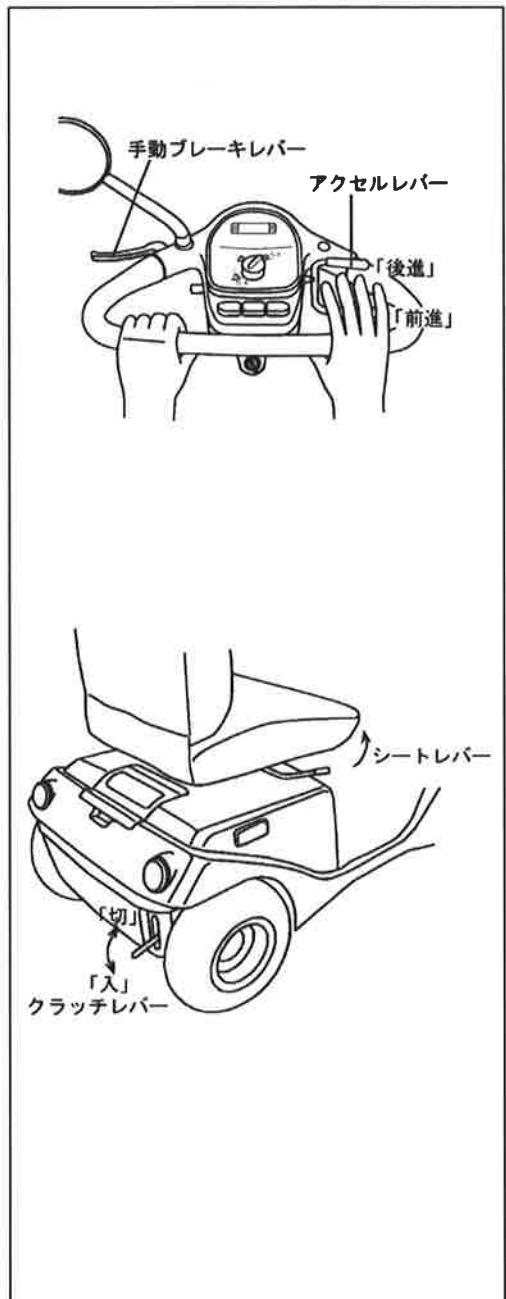
■音声案内ボタン

- ・音声案内機能の「入」、「切」を切り替えます。
- ・音声案内機能が働いている時に音声案内ボタンを押すと、音声案内機能を停止します。
もう一度音声案内ボタンを押すと、音声案内機能が働きます。

操作レバーの名称とはたらき

■アクセルレバー

- 手前側を握ると前進し、反対側を握る（押す）と後進します。また、手を離せば停止し、内蔵の電磁ブレーキが自動的にかかります。



■手動ブレーキレバー

- このレバーを握ると、後輪にブレーキがかかります。ロック機構が付いていますので駐車する場合にお使いください。

※通常走行時は、アクセルレバーから手を放せば自動的に電磁ブレーキがかかりますので、使用する必要はありません。

■クラッチレバー

- 走行時は、必ず「入」の位置で使用してください。
- 「切」の位置にすると、手押し移動（機体を押して動かす操作）ができます。

■シートレバー

- 矢印の方向に倒すと、シートを回転させての乗り降りや、シートを取り外すことができます。

警報と音声案内機能

この製品には、使用中に注意を必要とする状態や誤操作である事を、ブザー音とバッテリメータの点滅・点灯および音声（音声案内機能作動時）でお知らせする警報機能が付いています。警報の内容に応じて、適切な対処をしてください。

進路警報

後進、ワインカーボタンを押して左折、右折する場合に進行方向をお知らせします。

種類	内 容	
後進警報	ブザー	バックブザーが鳴ります。
	音声案内	「バックします」
	対処のしかた	後方に注意して後進してください。 アクセルレバーから手を放すと警報は停止します。
左折警報	ブザー	ワインカーブザーが鳴ります。
	バッテリメータの状態	左方向にランプが進んでいるように見えます。
	音声案内	「左に曲がります」
	対処のしかた	左折方向に注意して進んでください。 ハンドルを正面に向けるか、ワインカーボタンを再度押すと警報は停止します。
右折警報	ブザー	ワインカーブザーが鳴ります。
	バッテリメータの状態	右方向にランプが進んでいるように見えます。
	音声案内	「右に曲がります」
	対処のしかた	右折方向に注意して進んでください。 ハンドルを正面に向けるか、ワインカーボタンを再度押すと警報は停止します。

警報と音声案内機能

音声案内確認

音声案内ボタンを押したときに音声案内機能の「入」「切」をお知らせします。

種類	内 容	
音声案内 開始	音声案内	「音声案内をはじめます」
	対処のしかた	音声案内が不要な場合は再度押してください。
音声案内 停止	音声案内	「音声案内を終わります」
	対処のしかた	音声案内が必要な場合は再度押してください。

誤発進防止警報

アクセルレバーを握った状態で、キースイッチを「走」の位置にしたときにお知らせします。

種類	内 容	
誤発進防止 警報	音声案内	「アクセル操作をもう一度やり直してください。」
	ブザー	警報ブザー；ピッ！ピッ！（1秒間に2回）が鳴ります。
	対処のしかた	アクセルレバーから手を離し、もう一度アクセルレバーを握りなおせば走行できます。

放置防止警報

キースイッチを「走」または「」の位置のまま放置しているときにお知らせします。

種類	内 容	
放置防止 警報	音声案内	「キースイッチを切ってください。 3分毎に合計3回案内します。」
	ブザー	なし
	対処のしかた	安全と省エネのためにキースイッチを切ってください。

充電に関する警報

充電開始時や充電中に注意を必要とする状態や誤操作であることをお知らせします。

種類	内 容	
充電開始 警報	バッテリメータの状態	バッテリ残量を点滅表示。
	音声案内	「充電をはじめます。」
	原因	異常ではありません。 充電コードをコンセントに差し込んだときに充電を開始されたことをお知らせします。
充電中確認 警報	バッテリメータの状態	バッテリ残量を点滅表示
	音声案内	「充電中です。」
	原因	異常ではありません。 充電中にホーンボタン又はワインカーボタンを押したときに充電中であることをお知らせします。
充電完了 確認警報	バッテリメータの状態	● ● ● ● ● 5個点滅
	音声案内	「充電は終わっています。」
	原因	異常ではありません。 充電完了している場合ホーンボタン又はワインカーボタンを押したときに充電が完了していることをお知らせします。
充電中断 警報	バッテリメータの状態	バッテリ残量を点滅表示
	音声案内	「まだ充電が終わっていません。」
	原因	充電途中に充電コードをコンセントから抜いた場合にお知らせします。
	対処のしかた	充電が完了するまで充電コードをコンセントから抜かないようにしてください。
充電誤操作 警報	バッテリメータの状態	○ ○ ○ ● ● 右の2個が点灯
	音声案内	「キースイッチを切ってください。」
	ブザー	エラーブザー；ピ.ピ.ピ.ピ.（1秒間に5回）が鳴ります。
	エラーランプ	点灯します。
	原因	充電中にキースイッチを「走」あるいは「  」の位置に回した。 または、キースイッチを「走」あるいは「  」の位置のままで充電を開始した。
	対処のしかた	キースイッチを「止」の位置にすれば充電を開始します。

警報と音声案内機能

使用中の警報

使用中、注意を必要とする状態や誤操作であることをお知らせします。

種類	内 容	
急坂警報	音声案内	「急な上り坂です。安全に気をつけてください。」 または、「急な下り坂です。安全に気をつけてください。」
	ブザー	警報ブザー；ピッ！（3秒間に1回）が鳴ります。 (上り坂の場合のみ)
	原因	約10度以上の急な坂道を走行しています。
	対処のしかた	転倒する恐れがありますので、できる限り急な坂道での使用を避けてください。
※過熱警報	バッテリメータの状態	バッテリ残量を点滅表示。
	音声案内	「無理な走りが続きました。少し休ませてください。」
	ブザー	警報ブザー；ピッピッ！（1秒間に2回）が鳴ります。
	原因	モータ、制御ボックスが発熱しています。引き続き使用すると停止します。
	対処のしかた	安全な場所に移動し、警報が出なくなるまで休憩してください。
※モータロック警報	バッテリメータの状態	バッテリ残量を点滅表示。
	音声案内	「アクセル操作をもう一度やりなおしてください。」
	ブザー	警報ブザー；ピッピッ！（1秒間に2回）が鳴ります。
	原因	車輪がロックして走行できません。
	対処のしかた	これ以上の段差や溝は乗り越えられませんので回避してください。 手動ブレーキレバーがロックされている場合は解除してください。
充電案内警報	音声案内	「バッテリが少なくなりました。充電をしてください。」
	原因	バッテリ残量が（●●○○○）になりました。
	対処のしかた	早めに充電してください。

充電警報	音声案内	「バッテリが少なくなりました。充電をしてください。」連続2回案内
	原因	バッテリ残量が（●○○○○）になりました。
	対処のしかた	まもなく走行できなくなります。速やかに充電してください。
バッテリ残量ゼロ警報	バッテリメータの状態	○○○●○（右から2番目のみ点灯）
	音声案内	「異常が発生しました。アクセル操作をもう一度やりなおしてください。」
	ブザー	エラーブザー；ピッピッピッピッピッ（1秒間に5回）が鳴ります。
	エラーランプ	点灯
	原因	バッテリがなくなり、停止してしまいました。
	対処のしかた	速やかに充電してください。
ライト点灯メッセージ	音声案内	「ライトをつけます」
	原因	異常ではありません。 ライト点灯時にお知らせします。
ライト消灯メッセージ	音声案内	「ライトを消します」
	原因	異常ではありません。 ライト消灯時にお知らせします。

上記※印、（過熱警報・モータロック警報）についての詳しい説明は、次ページをご覧ください。

- 適切な対処を行なったにもかかわらず警報がおさまらなかったり、上記以外の警報でスピードが出ない場合や機体が動かない場合は、警報が発生している時のバッテリメータの表示（点灯しているランプの箇所）や音声案内の内容を確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

使用中の警報の補足説明

過熱警報

連続的な登り坂を走行すると、モータや制御ボックスに負担がかかり発熱してきます。そのまま走行すると故障の恐れがあるため、一定以上温度が上がると警報でお知らせします。

- このような警報が出た時は、必ず安全な場所へ回避し、警報が出なくなるまで休憩してください。警報が止まれば走行することができます。

▲ 注意

機体が停止しますので、警報が出た時はすみやかに安全な場所へ回避し、休憩してください。

- なお、過熱により停止した場合でも、アクセルを握りなおすと1分間だけ低速で走行することができます。

1分後に再度停止しても、アクセルを握りなおせば、また1分間の走行ができますので、停止位置が危険な場所である場合には安全な場所まで移動してください。

モータロック警報

大きな段差や深い溝などに入り、タイヤがロック状態になると、モータや制御ボックスに負担がかかり発熱してきます。そのままの状態を長時間続けると故障する恐れがあるため、警報でお知らせするとともに停止させます。

- このような時は、それ以上の段差や溝は乗り越えできませんので、回避してください。
- 手動ブレーキがロックされている場合には、ロックを解除してください。

安全装置と機能

この製品は、マイコン制御により各種の安全装置・機能を備えています。それぞれの装置や機能のはたらきを十分理解し、快適にご使用ください。

■コーナー減速装置

走行速度が4.0km/h以上の時、ハンドルを切ると自動的に減速し、安定感のあるスムーズな旋回ができます。

但し、後進走行時は最高速でも2.0km/hになっておりますので、この装置は作動しません。



■ワインカー自動消灯装置

ワインカーボタンの操作をした後、ハンドルが真直ぐに戻ると方向指示器の点滅を自動的に解除し、消し忘れを防止します。

但し、ハンドル操作のしかたによっては、解除されない場合も有りますので、その時はワインカーボタンをもう一度押して解除してください。

なお、万一消し忘れた場合でも、点滅後2分間経過すると自動的に解除されます。



■握り込み停止機能

走行中、緊急に停止する必要があるとき、緊張して思わずアクセルレバーを握り込んでしまう場合があります。

このように必要以上の力で握り込んでしまった場合、自動的に停止させ、音声案内とともにブザー音でお知らせします。

音声案内の内容

「緊急停止しました。アクセル操作をもう一度やり直してください」

- アクセルレバーから手を放せばブザー音は止まり、再び走行できるようになります。
- 急ブレーキがかかるため乗っている人や車体に負担がかかりますので、通常走行時には、故意に使用しないでください。
- この機能は、後進時には作動しません。



■ヘッドライト自動消灯装置

ヘッドライトの消し忘れによるバッテリの無駄な消費を防ぐため、ヘッドライトを点灯したまま放置しておくと、10分後には自動的にヘッドライトを消灯させます。

- アクセルレバーを握ればヘッドライトは再び点灯します。

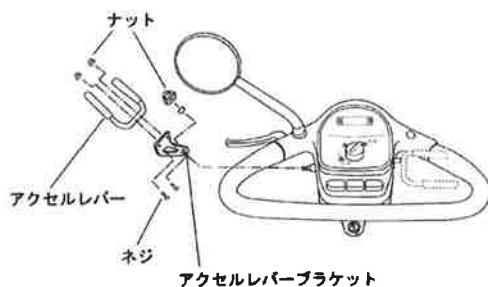
使用する前に

各部の調節

調節をする際は、充電コードをコンセントから抜き、キースイッチを「止」の位置にし、機体が安定する平坦な場所で行なってください。

■アクセルレバーの付替え

アクセルレバーは、好みに応じて左右いずれかに取り付けることができます。



■シート位置の調節

運転しやすい位置にシートの位置を設定することができます。
シート調節可能寸法は、前後方向に 50 mmです。



! 注 意

走行中、シートが動く恐れがあります。

- ・シートの調節を行なった後、シートを前後に押して、確実に固定されていることを確認してから使用してください。

■ 音声案内の音量調節

音声案内の音量がお好みに合わない場合、調節可能ですので購入された販売店にご相談ください。

■ ホーン・ブザーの音量調節

ホーン・ブザーの音量がお好みに合わない場合、調節可能ですので購入された販売店にご相談ください。

■ ホーン・ブザーの音程調節

ホーン・ブザーの音程がお好みに合わない場合、調節可能ですので購入された販売店にご相談ください。

■ バックブザーの音量調節

バックブザーの音量がお好みに合わない場合、調節可能ですので購入された販売店にご相談ください。

■ バックブザーの音程調節

バックブザーの音程がお好みに合わない場合、調節可能ですので購入された販売店にご相談ください。

■ 音声案内チャイムの有無

音声案内チャイム（ピンポン）がお好みに合わない場合、削除可能ですので購入された販売店にご相談ください。

運転のしかた

乗車する際の確認

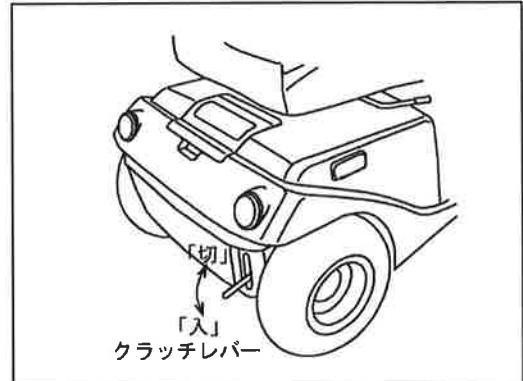
▲ 注意

転倒する恐れがありますので、必ず平坦な場所で乗車して下さい。

(1)クラッチレバーが「入」位置になっているか、確認してください。

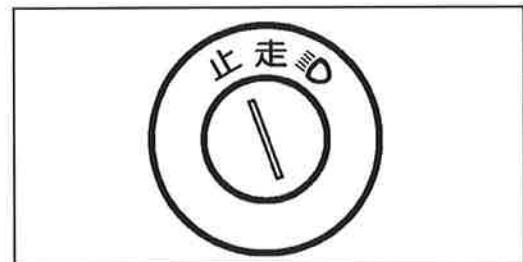
重要 クラッチレバーが「切」位置になると、アクセルレバーを握っても発進しないばかりでなく、電磁ブレーキもはたらきませんので、坂道では勝手に機体が動き危険です。

(2)充電コードがきちんと収納されているか確認してください。

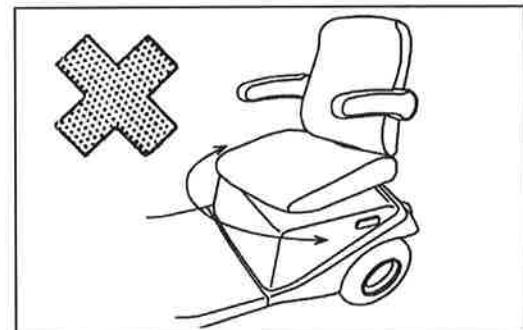


(3)キースイッチが「止」位置になっているか確認してください。

重要 キースイッチが「走」位置になっていると、乗車の際、身体の一部がアクセルレバーに触れた場合、機体が動いてしまう恐れがあります。



(4)シートに深く腰を掛け、シートがしっかりと固定されていることを確認してください。



(5)後方が正しく写るように、バックミラーの角度を確認してください。

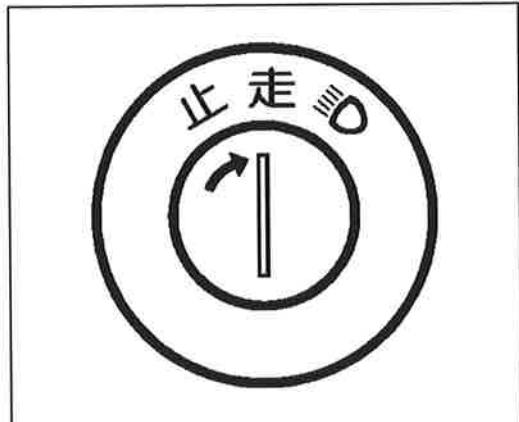
走行のしかた

■発進のしかた

(1)キースイッチを右に一段回して「走」位置にしてください。

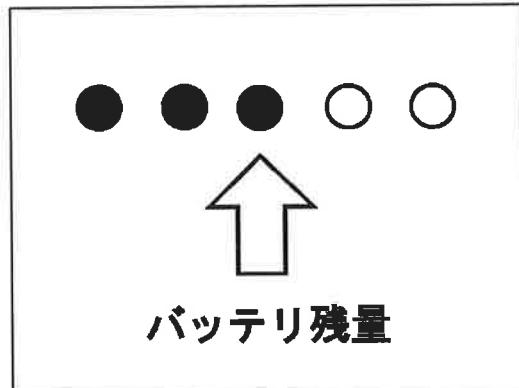
もう一段回すとヘッドライトと車幅灯が点灯します。

重要 アクセルレバーを握ったままキースイッチを「走」位置にすると、誤発進防止警報（P. 15参照）がはたらき、走行しません。



(2)バッテリーメータでバッテリの残量を確認してください。

満充電時は、5個のランプが全て点灯し、走行するにしたがい、右端から1個づつ消えていきます。



●平坦な道路をランプ1個分で走行できる距離の目安は約8kmです。

残り2個からは、ランプ1個分で走行できる距離の目安は約4kmです。

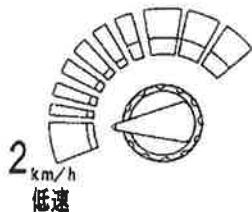
●冬期はバッテリのはたらきが鈍るため、夏期にくらべて走行できる距離が、2~3割短くなります。

●走行できる距離は、バッテリの寿命にともなって短くなります。

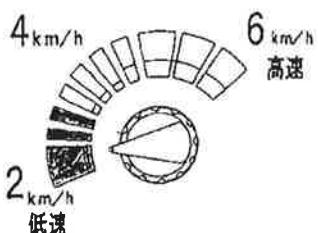
(3)変速ダイヤルを「低速」側へ回してください。

●運転に慣れるまでは、変速ダイヤルを「低速」にしてご使用ください。慣れた後は下の表を参考にし、状況に合わせて速度をお選びください。下の表は前進時の速度で、後進時の最高速度は2.0 km/hです。

最初は低速から

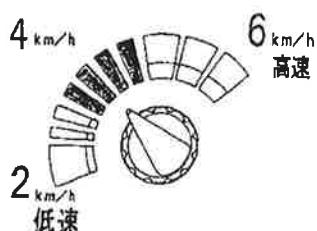


低速域



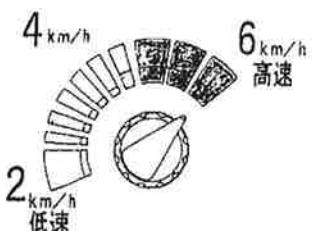
- 2. 0～3. 3 km/h（ゆっくり歩く速さ）
- 人ごみの中や、5°以上急な下り坂・屋内などで使用してください。

中速域



- 3. 3～4. 7 km/h（普通に歩く速さ）
- 通常の屋外走行に使用してください。

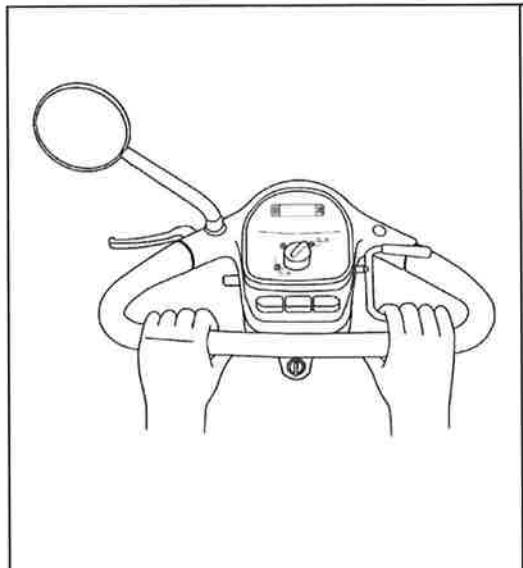
高速域



- 4. 7～6. 0 km/h（早足で歩く速さ）
- 人や障害物の少ない広い平坦な場所で使用してください。

(4)アクセルレバーで指をはさまない様に注意し、ゆっくりと握りこんで発進してください。

重要 アクセルレバーの握り加減で0km/hから変速ダイヤルで設定した速度までスピードを変えることができます。



▲ 注意

操作ミスや転倒の恐れがありますので正しい姿勢で運転してください。

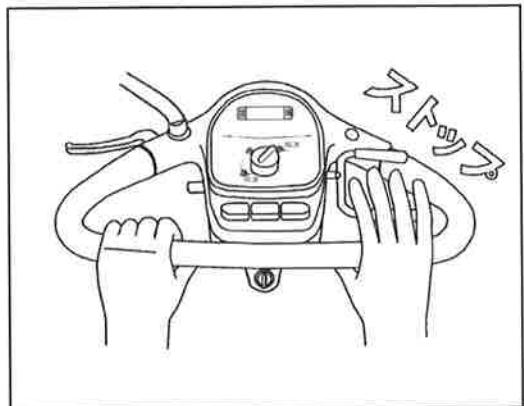
- ・走行中は車体から身を乗り出したり手足をはみ出さないでください。
- ・立って運転したり、横座りでの運転はしないでください。
- ・足元に荷物を置かないでください。

衝突・転倒の恐れがあります。

- ・発進する前に、周囲の安全とレバーやスイッチの位置を十分確認してください。
- ・旋回するときや坂道、凸凹路、カーブの多い場所では、十分に速度を落としてください。
- ・後進するときは後方の段差や障害物に十分注意してください。

■停止のしかた

- (1) アクセルレバーから手を放すと自動的に電磁ブレーキがかかり、停止します。



重要 停止距離は走行速度や路面状態（凸凹、坂、雨濡れ等）によって異なりますので、操作は早めに行なってください。



- (2) 降りるときはキーイッチを「止」位置にし、キーを抜いてから降りてください。

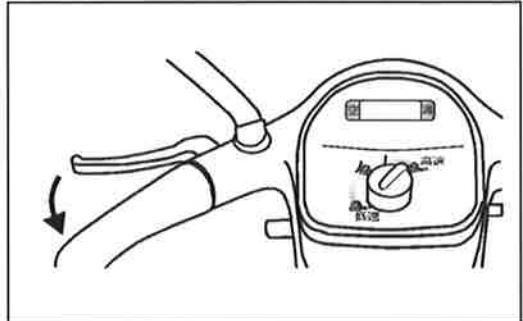
キー(かぎ)を抜いてから！



緊急時の対応

■緊急停止のしかた

アクセルレバーから手を離し、手動ブレーキレバーを引くか、キースイッチを「止」の位置にしてください。



▲ 注意

急停止による転倒など、思わぬ事故をまねく恐れがあります。緊急時以外は緊急停止の操作をしないでください。

■手押し移動のしかた

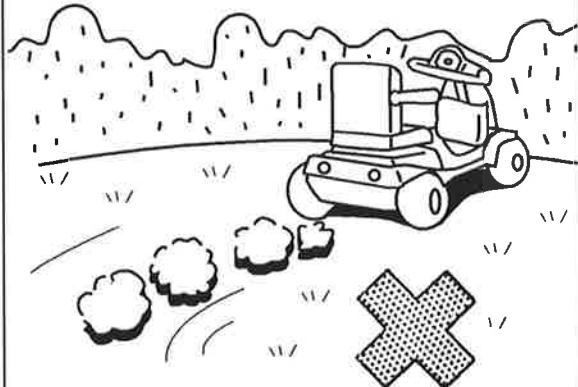
クラッチレバーを「切」にすると手押し移動(機体を押して移動させる操作)ができます。
狭い場所で移動する場合や、故障などで走行できない場合に使用してください。

重要 クラッチレバーが「切」の位置では内蔵の電磁ブレーキが効かなくなります。

坂道では車体が勝手に動きますので、平坦な場所で切り替えてください。やむを得ず坂道で切り替える場合は、必ず手動ブレーキレバーをロックさせて駐車ブレーキをかけてから切り替え、クラッチレバーカット後駐車ブレーキを解除して、ブレーキをかけながらゆっくりと移動してください。

▲ 注意

クラッチレバーの操作は車体の重さで機体が勝手に動く場合がありますので、傾斜のない平坦地で行ってください。



ケガをするおそれがありますので、手押し移動時は車輪(タイヤ)に足をはさまれないよう注意してください。



充電のしかた

充電に関する一般的な注意

⚠ 警 告



引火爆発の恐れがあります。

充電中バッテリに火気を近づけないでください。

- 充電中は、バッテリから可燃性のガスが発生しますので、火気（ストーブ・たばこの火等）のある場所では充電しないでください。



感電の恐れがあります。

濡れたプラグや濡れた手で充電しないでください。

- 手の水分は拭き取ってください。
- 濡れたプラグはよく乾燥させてください。

⚠ 注 意

車体力バー（別売）をかけたまま、充電しないでください。

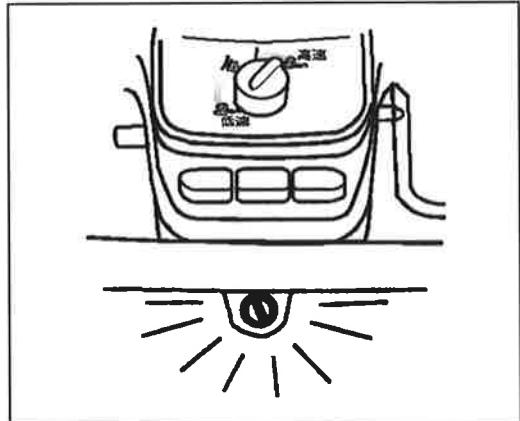
■直射日光や雨・露の影響を受けない、風通しのよい湿気の少ない場所で充電してください。

■バッテリの性能や寿命を低下させないために、必ずお守りください。

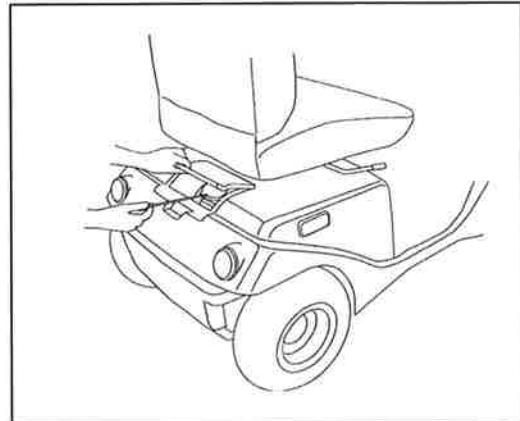
- 重要**
- バッテリ残量ランプが4個または3個点灯していても、使用後はできるだけ速やかに（遅くとも使用した日のうちに）充電するよう心掛けてください。
 - バッテリの使い過ぎ（過放電）は避けてください。
 - バッテリは自然放電します。長期間使用されないときも1カ月に1度は充電してください。
 - 充電が完了するまで充電コードをコンセントから抜かないでください。緊急の場合は、充電を途中で中断しても構いませんが、使用後は充電を完了するまで行なってください。
 - 他の充電器は使用しないでください。

充電作業

- (1)キースイッチを「止」位置にしてキーを抜いてください。



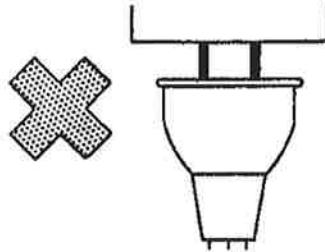
- (2)機体後部の充電カバーを開いて充電コードを引き出し、プラグを家庭用AC 100Vコンセントに差し込んでください。充電を開始します。



重要 コードに貼ってある赤色テープの目印がコードリールから出たら、それ以上引き出さないでください。コードが戻らなくなります。
●長さが足りないときは、延長コードをご使用ください。

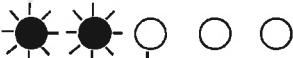
▲ 注意

発熱・破損の恐れがあります。
プラグの抜き差しは確実に行なってください。また、プラグは根元まで差し込んでください。



(3) 充電が進行するにつれ、ランプの点滅個数が多くなり5個点滅すれば充電完了です。

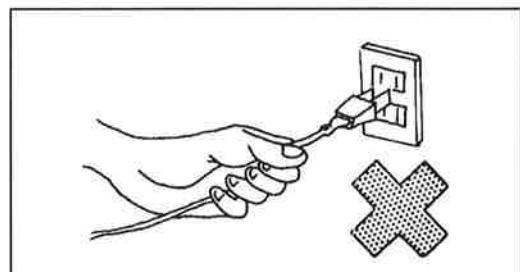
- バッテリメータの表示が左2個点滅から充電を開始した場合、バッテリメータの表示は次のようにになります。

バッテリメータの表示	表示の意味
 ↓ 順次点滅個数が増加 ↓  (5個全部点滅)	充電中 ↓ ↓ 充電完了

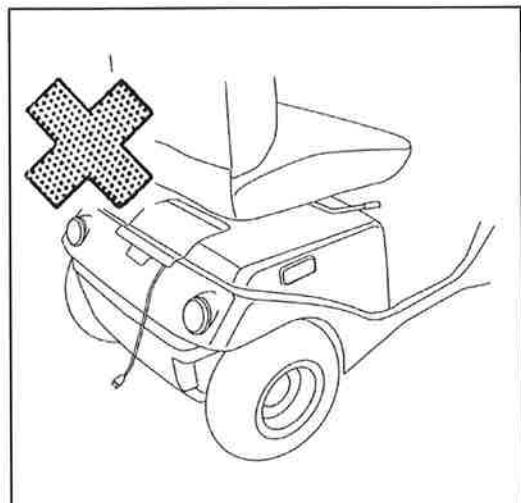
- 充電を始めてから完了するまでに要する時間の目安は、バッテリの残量が左2個点灯の状態から充電を開始したとき、8～11時間(気温20°Cの時)です。
- 音声案内機能を「入」にしておけば、充電が完了している場合、ホーンボタンまたはウインカーボタンを押すと充電が完了していることを音声でお知らせします。

(4) 充電が完了したらプラグを抜いて、充電コードをコードリール内に収納してください。(コードを少し引くと自動的に巻き取られます。)

- 重要** プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜いてください。



重要 充電コードが断線する恐れがあります
ので充電コードはコードリール内に
確実に収納してください。



バッテリの取扱い

バッテリに直接触れる場合の注意

- バッテリの点検や清掃等で直接バッテリに触れる場合は、バッテリ本体に貼りついているラベルをよく読み、必ずその指示に従ってください。



GSバッテリ



ユアサバッテリ



パナソニックバッテリ

▲ 注意

- バッテリの点検や清掃等を行なう際は、必ずキースイッチを「止」の位置にし、充電コードをコンセントから抜いた状態で行なってください。
- バッテリを持ち上げる場合は、取手あるいはバッテリの本体下部をしっかり持て行なってください。
- バッテリを分解・改造しないでください。
- バッテリを生命維持装置の電源等、他の用途には使用しないでください。
- 使用済みのバッテリは、そのまま廃棄したり、火の中へ投入したりせず、お買い上げの販売店にご相談ください。

バッテリの取付・取り外し方

▲ 注意

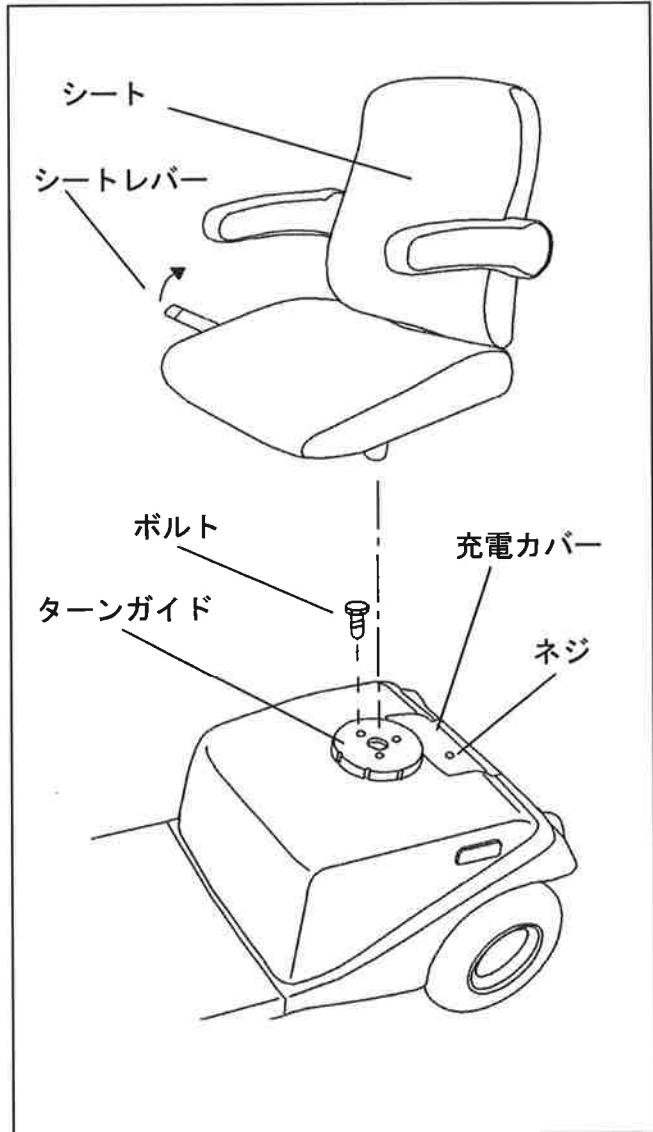
- 工具等で+、-の端子をショートさせないでください。
- バッテリは正しい位置に、正しい方向で固定してください。

■バッテリの取り外し方

(1)シートレバーを矢印の方向に倒した状態でシートを上に持ち上げてください。

(2)3本のボルトを外し、ターンガイドを取り外してください。

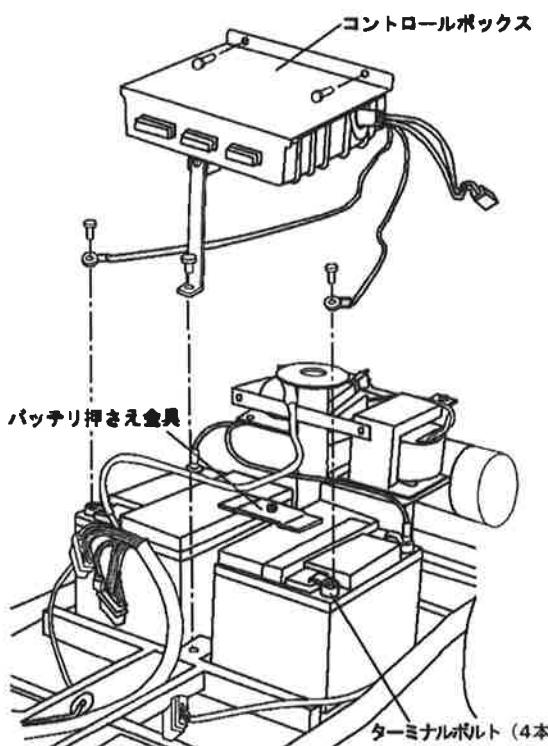
(3)後方の充電カバーを開けて2本のねじを取り外してください。



(4) ウインカーの配線に注意して、バッテリカバーを持ち上げてください。



(5) コントロールボックスを外してください。



(6) バッテリ押さえ金具を取り外してください。

(7) バッテリのターミナルボルトを緩めてコードを取り外し、バッテリを降ろしてください。

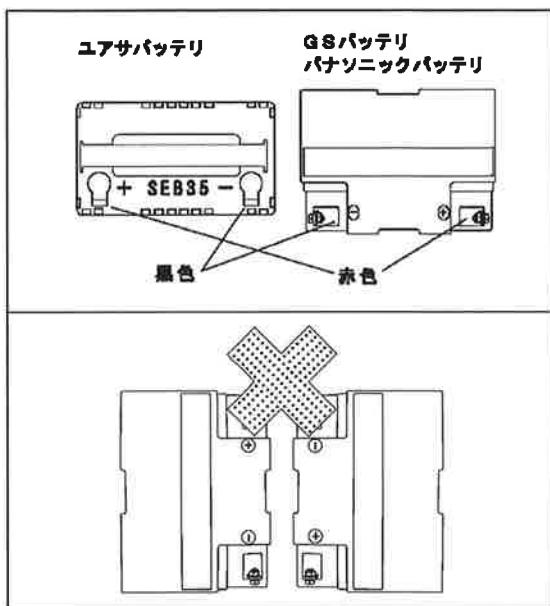
■バッテリの取り付け方

取り付けは取り外しと逆の手順で行なってください。

重要 バッテリのコードを取り付ける際、極性 (+, -) に注意してください。

- バッテリの+に赤色キャップの付いたコードを、-に黒色キャップの付いたコードを取り付けてください。

- 端子の付いている側を内側にしてセットしないで下さい。



重要 バッテリの交換が必要な場合は必ず指定の純正品を使用してください。これ以外のバッテリを使用すると性能、寿命の保証ができません。

重要 バッテリの交換をする場合はできる限り、今までご使用のバッテリと同種のバッテリをご使用ください。

純正バッテリ	
GS	SER38-12
パナソニック	LC-XC1238AJ
ユアサ	SEB35 (L型端子)

一バッテリは消耗品です

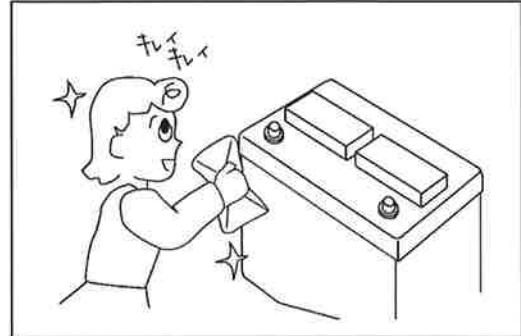
- 使用期間とともに、バッテリ容量が低下し、走行できる距離が短くなります。
- バッテリの寿命は、使用条件（使用頻度・走行距離）や使用場所（坂道・平坦路）などにより異なります。
- バッテリ残量ランプが4個または3個点灯していても、使用後はできるだけ速やかに充電するよう心掛けてください。使用したままで放置しておくとバッテリの寿命が短くなります。
- 過放電するとバッテリの寿命が短くなります。
- バッテリ残量ランプが ●●〇〇〇 になるまでの時間が短くなり、使用に支障をきたし始めたら、早目にバッテリを交換してください。
- 交換するときは2個同時に行なってください。
交換の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

バッテリの清掃

⚠ 危 険

- 静電気の発生を防止するため、清掃するときは水気を良く絞った濡れ布で、汚れを拭き取ってください。

- バッテリに水やほこり・ゴミ等が付着していると、バッテリが放電しやすくなりますので、水気を良く絞った濡れ布等できれいに拭き取ってください。



- ターミナル部に白い粉が付着しているときは、ぬるま湯で拭くとよく落ちます。

保守・点検

▲ 注意

保守・点検は、必ずキースイッチを「止」位置にして行ってください。

●充電中は、保守・点検を行なわないでください。

●部品交換時は、必ず純正部品を使用してください。

●改造は、事故・故障等の原因となりますのでしないでください。

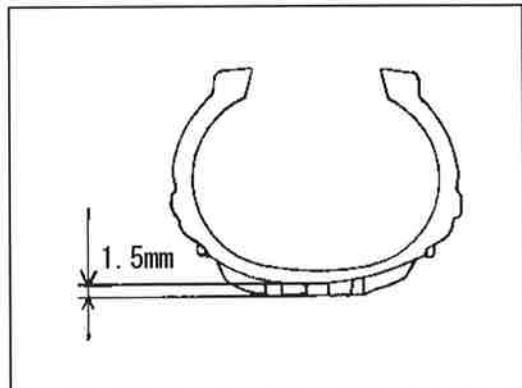
保守のしかた

■タイヤ

●溝が減っていたら

溝が浅くなったら、スリップ事故につながる恐れがあります。早めに交換してください。

タイヤ交換時期
タイヤの溝深さが 1.5 mm 以下になったとき

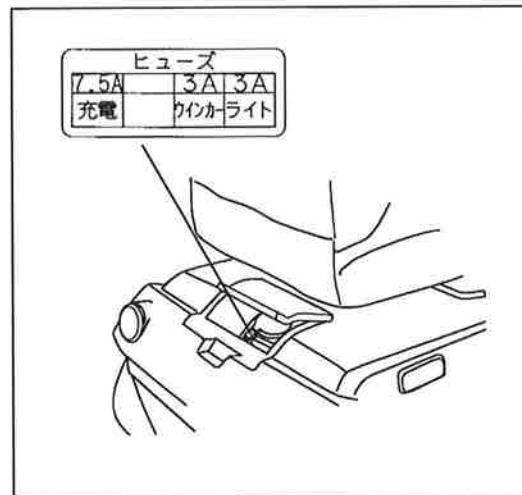


■ヒューズの交換

電気回路を保護するため、3つのヒューズが取り付けられています。ヒューズが切れている場合は、予備のヒューズと交換してください。(予備ヒューズは取扱説明書が入っている袋に同梱されています。)

重要 規定容量以外のヒューズは使用しないでください。

なお、ヒューズの有る場所は右図の通りです。



■お手入れについて

車体の汚れは、絞った濡れ布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を使って拭き取り、その後乾いた布でよく拭き取ってください。



▲ 注意

- 故障や破損につながりますので車体に水をかけたり、ガソリン・シンナー・ベンジン・ワックス等で拭いたりしないでください。

■保管について

故障や機体の損傷を防ぐため、直射日光や雨・露を受けない風通しの良い場所で保管してください。



重要 保管前には必ず充電を行ない満充電状態にしてください。

- 長期間保管する場合も、必ず1ヶ月に一度は充電してください。バッテリは、保管中も自己放電によって電気が逃げています。そのまま放置すると、バッテリ容量が回復しなくなります。

▲ 注意

保管したり駐車するときは必ずキーを抜き、子どもの手の届かない所に保管してください。

点検について

■安全に使用していただくために、下表にしたがって点検してください。

異常がある場合や定期点検については、お買い上げの販売店にご相談ください。

●定期点検は、お買上げ後1カ月経過時、及び6カ月毎に実施してください。

●長期間使用しなかった場合でも、必ず定期点検を受けてください。

点 検 箇 所	点 検 内 容	点 検 時 期	
		使 用 前 每 日	定 期 点 検
ハ ン ド ル	・ハンドルのガタは異常に大きくなっていますか？	○	○
	・操作はスムーズに行なえますか？	○	○
ス イ ツ チ	・「走」でバッテリーメータが点灯し、「止」でバッテリーメータが消えますか？	○	○
	・「  」でヘッドライトが点灯し「走」で消灯しますか？	○	○
	・正常に作動しますか？	○	○
	・正常に作動しますか？	○	○
	・ホーンが鳴りますか	○	○
レ バ ー	・ガタや緩みはないですか？	○	○
	・手を放せば停止しますか？	○	○
	・「入」で停止中はブレーキが効いていますか？	○	○
	・確実に固定されていますか？	○	○
	・手押し移動する際、軽く握ればブレーキが効いていますか？	○	○
タ イ ャ	・摩耗はしていませんか？ (P. 40参照)	○	○
バッテリ	・ターミナルの緩みはありませんか？	○	
	・外装の変形やひび割れはありませんか？		○
	・走行時間が極端に短くなっていますか？		○
配 線	・ケーブルの破損はありませんか？	○	
	・コネクタの緩みはありませんか？		○
全 般	・異常な音はありませんか？		○
	・ボルト・ナットの緩みはありませんか？		○
	・変形・損傷はありませんか？		○

不調時の対応のしかた

▲ 注意

- 点検・整備する時は、必ずキースイッチを「止」位置にして行なってください。
- 点検・整備で取り外したカバー類は、必ず元のとおり組み付けてください。
- 運転直後は、モータは高温となっていますので、点検・整備する時は、モータが完全に冷めてから行なってください。

■不調時の対応のしかた

使用中に異常が生じた時は、下表に従って点検してください。それでも異常がみられるときは、使用を中止し、お買上げの販売店にご相談ください。

症 状	点 検 内 容
発進しない	キースイッチが「走」位置になっていますか? バッテリ残量が不足していませんか? (P. 25 参照) クラッチレバーが「切」位置になっていますか? 誤操作ではありませんか? (P. 15 ; 誤発進防止機能参照) 溝や段差で動かない状態になっていますか?
スピードが出ない	変速ダイヤルの位置が不適切ではありませんか? (P. 26 参照) バッテリ残量が不足していませんか? (P. 25 参照) コーナー減速装置がきいていませんか? (P. 20 ; コーナー減速装置参照) 急な上り坂では、スピードが遅くなります。 異常ではありません。
警報が鳴りながら走行する	急坂警報ではありませんか? (P. 17 ; 急坂警報参照) 過熱警報ではありませんか? (P. 19 ; 過熱警報参照)
警報が鳴り走行しなくなつた	バッテリ残量が不足していませんか? (P. 18 ; バッテリ残量ゼロ警報参照) 過熱警報ではありませんか? (P. 19 ; 過熱警報参照) 溝や段差で動かない状態になっていますか? (P. 19 ; モータロック警報参照) 握りこみ停止機能がはたらいていませんか? (P. 21 ; 握り込み停止機能参照)

不調時の対応のしかた

充電プラグをコンセントにさすと警報が鳴る。 充電中に警報が鳴る。	キースイッチが「走」または「  」位置になっていませんか？ (P. 16 ; 充電誤操作警報)
充電プラグをコンセントに差してもバッテリメータが点滅しない	ヒューズが切れていませんか？ (P. 40 ; ヒューズの交換参照)
ヘッドライトが点灯しない	ヒューズが切れていませんか？ (P. 40 ; ヒューズの交換参照)
ワインカーが点滅しない	ヒューズがきれていませんか？ (P. 40 ; ヒューズの交換参照)

仕様

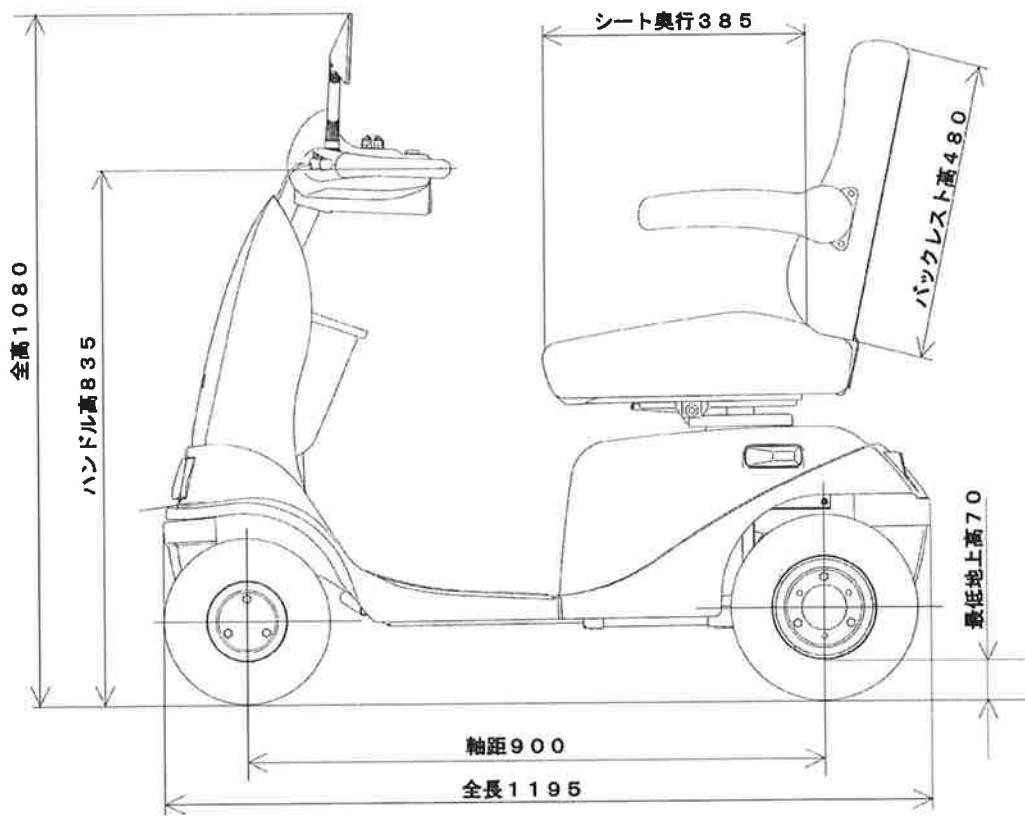
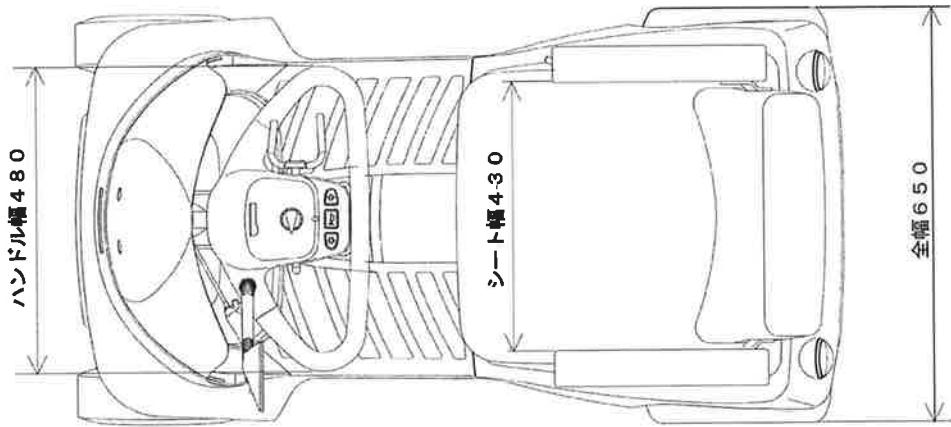
主要諸元

●この主要諸元は、改良のため予告なく内容変更する場合があります。

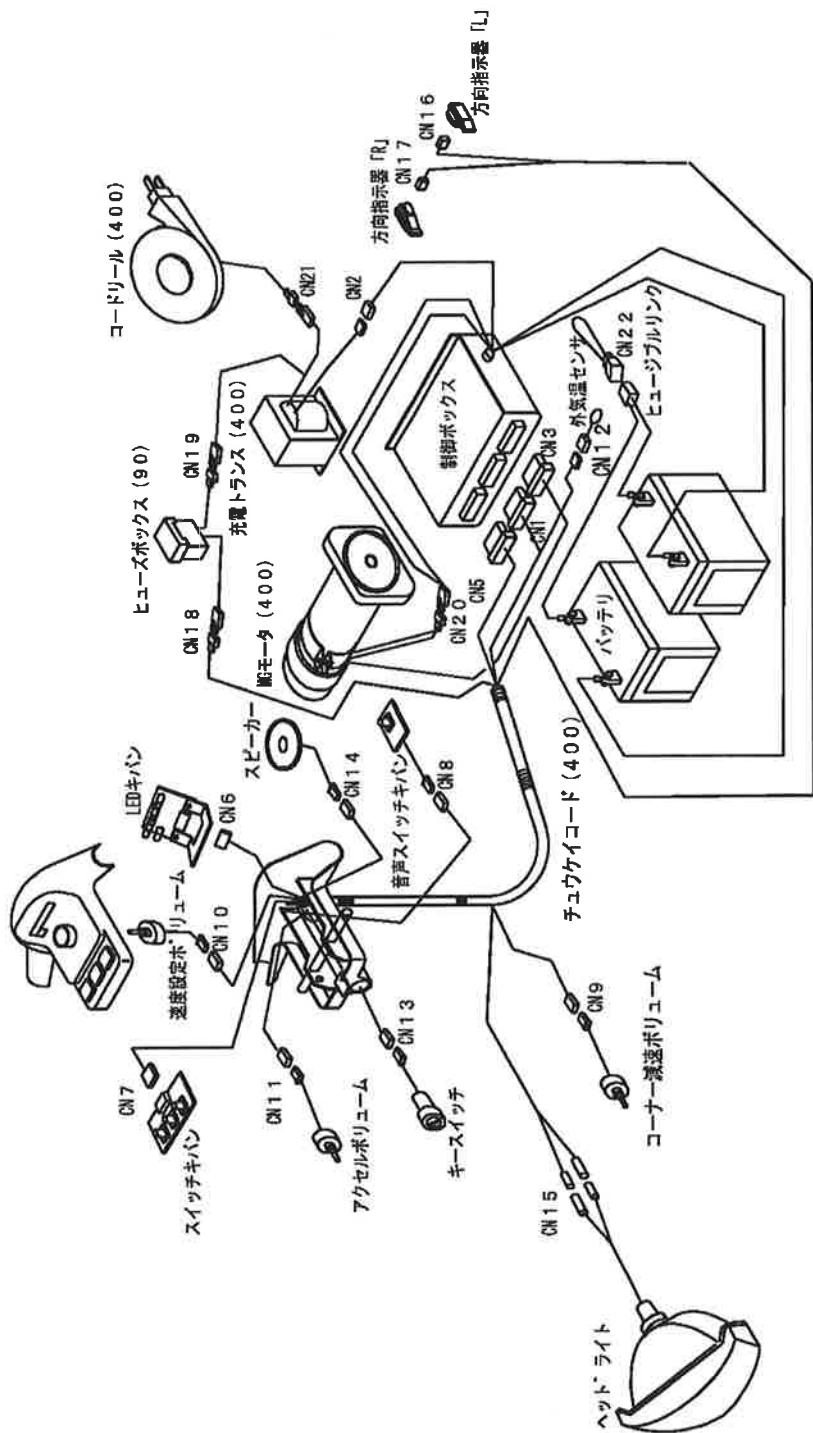
諸元	型 式		BT400
	寸法 (全長 × 全幅 × 全高) (mm)		1195×650×1080
	本体重量 (バッテリを含む総重量) (kg)		75 (107)
	車 輪	前 2 輪	3.00-4 (ノーパンクタイヤ)
		後 2 輪	3.50-5 (ノーパンクタイヤ)
	駆 動 方 式		後 2 輪駆動 (デフ付)
	制 動 方 式		電磁ブレーキ・モータ発電制動 内拡式手動ブレーキ
	操 舵 方 式		ループハンドルによる前輪操舵
	制 御 方 式		アクセルレバーによる無段階速度制御
	バッテリ (5時間率)		12V×35AH×2個 (シールドバッテリ)
	モータ (30分定格出力)		24V/390W×1個
	ヘッドライト		24V/20W
	ウインカー		24V/7W
	充 電 器		自動充電器内蔵 (温度補正付)
	シ 一 ト		肘掛けシート (回転式)
走行性能	最高速度	前 進 (km/h)	2.0~6.0 (無段階)
		後 進 (km/h)	0.6~2.0 (無段階)
	実用登坂角度 (°)		10
	段差乗り越え高さ (mm)		90以下
	溝乗り越え幅 (mm)		120以下
	最小回転半径 (mm)		1460 (機体最外側)
	※連続走行距離 (km)		25
	使用者最大体重 (kg)		100 (積載物を含む)
使用温度範囲 (°C)		-10~40	

※連続走行距離は、常温 (20°C)、標準体重 (75kg)、満充電の新品バッテリで平坦路を最高速度で連続走行したとき、バッテリが70%放電するまでの距離を示しています。

外観図

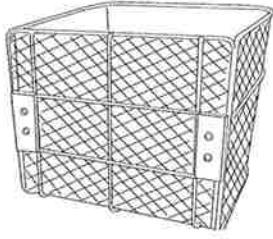
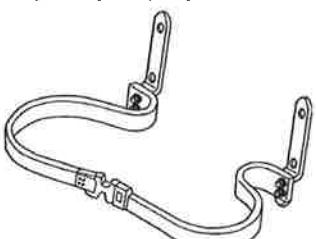
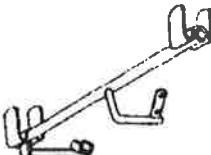


電気配線図



別売部品の紹介

より快適にご使用していただくために、下記の別売品を用意しております。お求めはお買い上げの販売店にお申し付け下さい。

<p>リヤバスケットSET</p> <p>買い物に便利なシート後方取付型のバスケットです。 ※ルーフと同時取付できません。</p> 	<p>リヤバスケット（ルーフ用）</p> <p>ルーフ取付時専用のリヤバスケットです。</p> 
<p>シートベルトSET</p>  <p>腰を安定させ、楽な運転姿勢が得られます。</p>	<p>バックミラーSET</p>  <p>より広い視野で後方の確認ができます。</p>
<p>車体カバー</p>  <p>機体を風雨から保護します。</p>	<p>松葉杖ラック</p>  <p>松葉杖の収納に便利です。</p>
<p>杖立てASSY</p>  <p>杖・傘等の収納に便利です。</p>	<p>お出かけルーフSET</p> <p>強い日差しから頭部を保護します。 ※リヤバスケットが必要な場合には、リヤバスケット（ルーフ用）をご注文ください。</p> 

定期点検記録

販売店様へ

●定期点検を行なった際、下記表に記録してください。

点検箇所	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
ハンドル						
スイッチ						
レバー						
タイヤ						
バッテリ						
モータ						
配 線						
全 般						
作業者						

定期点検は2年以降も引き続いて実施して下さい。

修 理 記 錄

販売店様へ

●修理を行なった際、下記表に記録してください。

修理年月日	不具合症状	修理内容	交換部品
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			
年 月 日			

連絡先

販売店	
〒	—
住所	
TEL	— —
担当	

ご購入日	
型 式	
製造番号	
キー番号	

※ご使用になる前にメモをしておくと、定期点検及び修理等の依頼をされるときお役に立ちます。

0774-940-011-3C

豊かさを創造し、未来へ挑戦する 株式会社アテックス

□ 本 社	愛媛県松山市衣山1-2-5 TEL (089) 924-7161 (代) FAX (089) 925-0771 TEL (089) 924-7162 (営業直通) E-mail:atexhome@atexnet.co.jp ホームページ: http://www.atexnet.co.jp/ お客様ダイヤル: 0120-870866	〒791-8524
□ 東北営業所	岩手県紫波郡矢巾町大字高田第11-59-1 TEL (019) 697-0220 (代) FAX (019) 697-0221	〒028-3601
□ 関東支店	E-mail:touhokugrp@m2.atexnet.co.jp 茨城県猿島郡五霞町元栗橋 6633 TEL (0280) 84-4231 (代) FAX (0280) 84-4233	〒306-0313
□ 関西支店	E-mail:kantogrp@m2.atexnet.co.jp 滋賀県東近江市沖野 2-9-9 TEL (0748) 22-7521 (代) FAX (0748) 22-7523	〒527-0034
□ 中四国支店	E-mail:kansaigrp@m2.atexnet.co.jp 愛媛県松山市衣山1-2-5 TEL (089) 924-7162 FAX (089) 925-0771	〒791-8524
□ 九州営業所	E-mail:chuushikokugrp@m2.atexnet.co.jp 熊本県菊池郡菊陽町大字原水 1262-1 TEL (096) 292-3076 (代) FAX (096) 292-3423	〒869-1102
□ 部品センター	E-mail:kyushugrp@m2.atexnet.co.jp 愛媛県松山市馬木町 899-6 TEL (089) 979-5910 (代) FAX (089) 979-5950	〒799-2655